

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：特別支援教育課
 担当名：教育環境整備推進担当
 内線：6883 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B41	特別支援学校の新たな学び推進プロジェクト			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	特別支援教育推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	学校教育法第72条			宣言項目	06 次代を担う人財育成		
						分野施策	030622 質の高い学校教育の推進		
1 事業概要 障害特性に応じたICTの活用により、障害のある児童生徒の課題や困難を改善・克服するとともに、特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの実践研究を通して、児童生徒一人一人の可能性を高め、卒業後を見据えたキャリア教育の充実を図り、自立と社会参加に向けた新たな学びの方向性を確立する。 (1) 特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの推進 節約による減額 △85千円 (2) タブレット端末等を活用した学習環境の整備 節約による減額 △400千円 (3) 病弱教育におけるICTの活用 契約期間が見込みを下回ったこと等による減額 △366千円				5 事業説明 (1) 事業説明 ア 特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの推進 1,402千円 イ タブレット端末等を活用した学習環境の整備 1,841千円 ウ 病弱教育におけるICTの活用 1,800千円 (2) 事業計画 ア 特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの推進 (ア) 特別支援学校でアクティブ・ラーニングの実践研究を実施 (イ) 実践報告会、公開授業等による研究成果の普及、指導内容や教材の共有化 イ タブレット端末等を活用した学習環境の整備 (イ) 県立特別支援学校にタブレット端末等を整備 (イ) アクティブ・ラーニングの実践研究と併せて、特別支援教育におけるICT活用の効果検証 ウ 病弱教育におけるICTの活用 (ウ) 病室と教室間での双方向通信による学習活動やVR（仮想現実）による体験学習等を実施 (ウ) 病弱教育におけるICT活用の効果検証 (3) 事業効果 ア 特別支援学校における主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の在り方を確立 イ ICTの活用により、障害による学習上の課題や困難を改善・克服し、障害のある児童生徒の可能性を拡大 (4) 補正予算の概要 ア 特別支援学校におけるアクティブ・ラーニングの推進：節約による使用料及び貸借料の減額 イ タブレット端末等を活用した学習環境の整備：節約による需用費等の減額 ウ 病弱教育におけるICTの活用：契約期間が見込みを下回ったことによる使用料及び貸借料等の減額					
2 事業主体及び負担区分 国のモデル研究（病弱教育におけるICTの活用）にかかる分（国10/10） その他（県10/10）									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△851	△366					△485	4,192	
現計額	5,043	1,800					3,243		